

第4回ふれあい文化芸能祭

市の総合文化祭で練習の成果を発表

市の総合文化祭「ふれあい文化芸能祭」が5月23日から30日の8日間開催されて舞台発表や作品展で訪れた多くの人を魅了しました。

市の文化団体連絡協議会が主催して日頃の練習成果を発表したこの芸能祭は、公民館などで活動するメンバーが集まり協議を重ねながら準備や運営を進めました。

今年は気候の温暖なこの時



期の開催を決め、27日には西淡公民館大ホールで38団体約350人による芸能部門の発表が行われ大正琴やコーラス、踊り、郷土芸能など、息の合った熱気あふれる演奏や演技を披露して会場から大きな拍手が送られました。

舞台を終えた人たちは「緊張もするが学んだ成果を発表できて感無量です」「みんなのできた達成感と、もつと上手

になろうという気持ちが湧いてくる」と話していました。

また、前日26日にはカラオケ部門の発表会があり、多くのカラオケファンが会場を埋め尽くすなかで78人が熱唱して歌声を披露しました。

展示部門では市内4会場の公民館で盆栽、生花、書道、写真、手工芸、絵画の見事な作品が展示され、訪れた人たちを楽しませていました。

全国成人式大賞「アイデア賞」受賞

今年1月8日に開催された市の成人式が「全国成人式大賞2012」でアイデア賞を受賞しました。

より良き成人式づくりをめざして、新成人たちが実行委員会を立ち上げ、「夢」をメインテーマとして、式典で自主制作した映像を放映したり、次世代につなぐ10歳の小学4年生が参加する2分の1成人式など、工夫を凝らした内容が評価された結果、今回の受賞となりました。

6月1日、報告会が開かれ、実行委員長の柳琢也さんと山口満斗佳さんが市役所を訪れて中田市長に受賞を報告。次期委員を務める梶純也さんと堀部千夏さんも参加して行われました。

柳さんは、「みんなでやっていくたび、やろうという意識が高まり、みんなで頑張った結果の賞で大変うれしい」と受賞の喜びを話しました。

中田市長は、「自分たちのことは自分たちでやるという良い見本を示してくれた。若い人たちの意気込みに感謝している」と祝福。次期委員に



▲中田市長(左端)へ受賞報告する(左から)山口さん、柳さん、堀部さん、梶さん

「次もたいへんだが、自分たちで行動し、つくりあげていくことが、すばらしい経験になる。先輩の意志を引き継いでいってほしい」と激励しました。

来年1月の成人式に向けて委員となる堀部さんは「身が引き締まる思い。負けないようがんばりたい」と意気込みを語りました。

滝川記念美術館玉青館蔵品展

な世界を体験しませんか。

◆玉青館特別展『鯨絵展』
地震鯨をモチーフに世相を戯画化した鯨絵は、安政江戸地震(1885年)直後に誕生しました。本展では、鯨絵の人気の秘密とその魅力に迫る40点を展示します。

▽期間 7月14日(土)～9月2日(日)

▽休館日 毎週月曜日(7月16日は開館)

▽料金 大人300円

◆子どもワークショップ

鯨絵展をみて、なまずのモビールを作ろう!

▽日時 8月5・19日(日) 午前10時～正午

▽場所 玉青館

▽対象 小学1年生～6年生

※2日とも参加できる人

▽定員 12人

▽参加費 200円

■玉青館 ☎36・2314



▲黄壁宗祖隠元一代記 宇治黄壁山万福寺

日本南画の第一人者である直原玉青画伯の作品を特別に公開した館蔵品展が滝川記念美術館玉青館で開催されました。

今回の館蔵品展では黄壁宗祖の隠元禪師の一生を描いた作品を中心に12点を展示。墨で描かれた一本一本の線がそれぞれに意味を持った迫力ある作品は、訪れた人たちを魅了していました。

どこか懐かしい南画の素朴



▲面白く集まる人が寄りたがり

御原中学校清掃活動

いよいよ夏の観光シーズンを迎えます

白砂青松で知られる慶野松原海岸で6月7日、御原中学校の生徒と教員ら約260人や地元老人クラブ、慶野松原



▲清掃活動を行う御原中学校生徒たち

にぎわいプロジェクトのメンバーらも参加して清掃活動が行われました。

快水浴場百選に選ばれる慶野松原海水浴場はその素晴らしい環境から夏の観光シーズンに約10万人もの人が訪れます。同活動はこの美しい自然を守ることを通して郷土愛を養おうと同中学校生徒会の呼びかけで1966年にスタートし、今年で47回目。

この日は汗ばむ陽気の中、生徒らは海岸約200mをゴ



▲集まったゴミの山

ミ袋片手に清掃を行い、約1時間で可燃ゴミ150袋、不燃ゴミ50袋ものゴミを集めました。

生徒たちは「きれいな海岸を誇りに思う。多くの観光客に訪れてほしい」と話していました。

「南あわじ良太郎西瓜」定植実地研修

た。これはアジア国際子ども映画祭の提唱者である俳優で歌手の杉良太郎さんが子どもの頃に食べた西瓜を再現する取り組みです。

この日は、市内の農家ら25人が参加し、奈良県の種苗会社「萩原農場」の技術担当者から定植方法のほか、剪定の時期や方法、収穫までの管理などの研修を受けました。研修後、参加者に12品種、約540株の西瓜の苗が配布されました。



▲担当者から定植の研修を受ける参加者ら



▲苗を持ち帰る参加者ら

8月に開催される品評会には杉さんも出席し、昔ながらの西瓜の味が再現できたものは、「南あわじ良太郎西瓜」と認定される予定です。市では、新たな特産品となることを期待しています。